

テクノロジーست育成塾 第8回情報交換会

平成24年3月14日

「乾杯の辞」

日本トラスティ・サービス信託銀行
代表取締役副社長 奥野 博章

どうも皆さん今晚は・・・。ご紹介に預かりました、奥野でございます。
先ほどの非常に清らかな調べの後で、私のようながさつな者が出てきまして、ちょっと興ざめかもしれませんが、一言ご挨拶させていただきます。

(会社の紹介)

私共は日本トラスティ・サービス信託銀行と言いまして、舌を嚙むような長い名前なんですけれども、出資行は住友信託とりそな銀行、そして中央三井信託の三社合弁の銀行でして、資産管理業務をやっております。

平たく言えば、皆さんも入っておられると思いますが、年金とか、それから投資信託、その辺の資産管理をしているところでございます。

事務とシステムが肝の会社ということです。

(システムの兄弟会社との合併)

会社の宣伝をさせていただきますと、私共でちょっとユニークなのは、1年半前にシステムの兄弟会社でありました日本トラスティ情報サービスというシステムに特化した会社がありましたが、それと銀行とを1年半前に合併しました。

私はその担当の副社長、CIO という訳です。

(合併の狙い)

ほとんどの銀行はシステム子会社という形で会社を分離していますけれども、元々我々もそうだったのですが、世の中に逆行してですね、合併させてですね、銀行の中に取り込んだと・・・。それだけ IT が我々の様な特に資産管理をする銀行にとりましては、IT が必要だという判断をして一緒になったという事です。

その狙いとしては業務と IT の融合ということを掲げました。

その中で IT ガバナンスの評価とかコスト効率化とか、それから人材育成の推進を謳って取り組んでいます。

(合併のその後)

こういうことに黒岩先生の言葉を借りれば、希望を持ってですね、今一体化した後の組

織の定着ということに勤（いそ）しんでいる次第です。

まあ、合併しましていろいろ問題もあるわけですが、業務と IT の融合ということで掲げて、「業務側の人間はもっと IT のことを知りなさい」、「IT の人間はもっと業務のことを知りなさい」ということを進めています。

まあ少しずつ目が出てきたかなと感じているこのごろです。

しかし、どんな組織体制にしましても、やはりその後フォローアップをきちんといかにやりとげるかという事が肝でしょうから、まあこれからも、そうした目標に向かって努力して参りたいなという風に思っています。

(特別講師)

私は育成塾で、システムコンサルタントの育成講座の特別講師ということを務めさせて頂いております。

この中にも私の拙い講義を聞かれた方も多と思いますので、また皆さんとは後ほど、お話しするのを楽しみにしています。

特別講師は、丁度これも 2 年やっています。

ベンダー企業向けとユーザー企業向け 2 つありまして、丁度 4 回ずつやりました。

2 つの講座はですね、水曜日はユーザー企業向け、木曜日がベンダー企業向けということで、大体 12~3 人の方が受講生で来られています。

私は CIO ですので、CIO としてどんなことを悩んでいるかですとか、考えているかという事を 30 分ほどお話しした後に、受講生の方から一問一答形式で、大体そうですね、1 時間から 1 時間強、質疑応答をしています。

これが、なかなか手に汗握る緊張の連続でして、まあ皆さんから鋭い質問が飛んで来ましてですね、私の方もなかなか答えるのに窮するという場面が多いと思いますが、またそれだけに私にとっても非常にいい刺激になります。

(若い人との対話)

先ほどのお話しで将来の希望ということがありましたけれども、やっぱり中堅の方と話しをしていると、まあ私もそろそろ 60 歳に近いのですけれども、エネルギーを頂けるといふ風に思いますし、脳も活性化するのかなという事でいつもこの講義をするのを楽しみにしている次第です。

同じように、会社でもやっぱり若い人との対話を増やさないといけないという風に思っています、この半年間は大体昼休みに、4 人くらいずつ呼びまして、週に 1 回ですけども、対話形式で若い人と意見交換しています。

これはちょうど私くらいの年齢の方も、出席者の中に多くおられると思いますけれども、若さを保つには非常にいいんじゃないかと思えます。

(ミクロに走りすぎる)

また、今の IT 現場を見ていますと、非常に細分化されております。

それからいろんなリスク管理ですね、非常に細かいところをきっちりしないといけない、という事になってきています。

これは我々が若いころと随分違うと思うのですけれども、それだけにあまりにもミクロに走りすぎて大局がみえないということもマイナスの面としてはあるのかなという風に思います。

そういうことで、私の様な者でもちょっとお手伝いをして、会社を経営する身というか、CIO としてどんなことを大きな目線では考えていますかという事をお話し、少しでもそういう中堅の皆さんの今後の成長に役立つということであれば、これからまたお手伝いしていきたいなと思います。

また皆さんとお話しするのを楽しみにしている次第です。

(3つの祈念)

ちょっと長くなりました。今日は「祈りと希望」ということです。

1年前大震災がございました。

そこで乾杯を行いたいと思いますが、まず初めに、1年経ちましてもまだまだ被災地で苦しみの日々を送られている方が多いと思います。

被災地の1日も早い復興をまず祈念したいと思います。

2つ目には、テクノロジストコンサルティングさんの益々のご発展を祈念したいと思います。

また3つ目に最後に、ここにご参集されました皆さんのご健勝を祈念して乾杯したいと思います。

宜しくご唱和下さい。

「かんぱー——い」

(拍手…)

どうもありがとうございました。

(了)